

昭島市地域ケア会議の内容(令和元年.10月現在)

包括	年度	回	No	世帯	高齢者本人	同居の介護者	課題	必要とされた社会資源	大分類	中分類	町名
東部	H29	第1回	29	親と子からなる二人世帯	脳梗塞後遺症 要介護3	子	心臓病 ・障老介護の支援が十分でない ・障害を抱えた介護者への支援がない	・ボランティアによる安否確認 ・介護者支援を担う機関の設置	⑧	5,6	玉川町5丁目
			30	単独世帯	白内障、腰痛 要支援1	なし	・高齢者の引越しを手伝ってくれる人がいない ・高齢者が生活しやす居住先が容易にみつからない ・受診拒否の方を受診につなげる支援が不十分	・引越しを手伝ってくれるボランティア ・高齢者の転居(バリアフリーなど)の支援や制度 ・受診拒否の方への医療職(市の保健師など)のアウトリーチ	④	6	福島町1丁目
			31	単独世帯	腎不全 要介護4	なし	・早朝派遣可能なヘルパー不足 ・自治会の協力がいない ・透析の患者の生活支援サービスが不足	・ちょこっとサービス、低額(ワンコイン)サービス(ごみ出し、電器の修理など) ・自治会の協力 ・透析患者への食事指導	⑤	9	朝日町5丁目
			32	高齢夫婦と子からなる三人世帯	小脳梗塞(若年) 要介護1	配偶者	・若年の認知症の方の家族への支援がない ・若年の認知症の方への相談対応、ケア機関がない ・同じ障害(若年認知症など)を持つ方の集まりの場がない	・若年の認知症のある親を持つ子や家族への支援プログラム ・若年の認知症の方の相談、経済的支援などの情報提供の機会、ケア(フリーで動くセラピストなど)の提供 ・若年認知症など同じ状況の方との集いの場	①	8,3	東町4丁目
東部	H29	第2回	33	単独世帯	膝関節症、腰椎圧迫骨折 要介護1	なし	・転倒し階段昇降困難となったが、現住居先がエレベーターがない	・状態が変化しても高齢者が安心して入れる住宅 ・速やかに都営やシルバー住宅への転宅ができる制度	④	なし	福島町998
			34	高齢夫婦と子からなる三人世帯	てんかん、認知症 要介護4	配偶者 認知症	・発作が夜間に多く起こることへの対応が困難(ショート先、家族)	・家族会(てんかん)などによる疾病理解の共有 ・てんかんに関する医療連携	①	6,9	東町5丁目
			35	高齢夫婦と子からなる三人世帯	認知症、パーキンソン症候群 要介護2	配偶者、仕事フルタイム有	・徘徊があり、探せない	・効果的な徘徊探索サービス ・認サボ終了者のボランティアの協力・集まり開催 ・認知症ケアパスの発行	①	5,8,11	福島町2丁目
			36	非親族を含む二人世帯	認知症、パーキンソン症候群 要介護4	元配偶者	・土日の服薬管理が困難 ・趣味はあるが拒否があり外出の機会がない	・土日の服薬の見守り支援 ・同じ趣味を持つ方の訪問ボランティア	①	5,3,7	朝日町5丁目
東部	H29	第3回	37	高齢夫婦二人世帯	大腸がん、低栄養 要介護3	配偶者 仕事有	・本人からの治療拒否があり状態が低下している	・癌患者に対する精神的支援(傾聴ボランティア) ・がん患者を持つ家族への支援(家族会、看取り体制整備など)	⑨	8	玉川町5丁目
			38	親と子からなる二人世帯	脳梗塞後遺症 要介護4	子	介護の抱え込み ・精神的疾患が疑われるなど、支援が必要な方を支援へつなぐ支援体制が不十分 ・医療面でケアマネが一人で悩んでいた	・本人や介護者への医師・保健師の精神的サポートなど実施するアウトリーチ支援 ・ケアマネのサポート体制(特に医療面での相談体制)	⑥	8,9	東町4丁目
			39	親と子からなる二人世帯	腰部脊柱間狭窄症 要介護4	子	仕事有 ・本人が外出拒否でひきこもりがち ・要介護状態となると自治会から抜けざるを得ない状況がある	・ADLの低下があっても送迎があって利用できるサロン ・自治会活動が高齢者を受け入れる体制を整備する	⑦	2,3	玉川町3丁目
			40	親と子からなる二人世帯	高次脳障害、認知症 要介護3	配偶者	・徘徊があり、探せない ・包括などの相談機関になかなかつながらず、状態が放置されていた状況だった	・効果的な徘徊探索サービス(警察などに登録しておくシステム) ・包括などの周知徹底	①	5,8,11	福島町998
東部	H29	第4回	41	単独世帯	アルコール性肝炎、腎障害 要介護1	なし	・孤独感が強い ・アルコール依存による生活の支障がある	・断酒会や地域とのつながり ・地域包括ケア病棟の周知	⑦	3,9,11	玉川町1丁目
			42	高齢夫婦二人世帯	難病(進行性核上性麻痺) 要介護5	配偶者	・嚥下機能評価をしてくれる訪問歯科医がいない ・難病(進行性核上性麻痺)を持つ家族への支援や情報提供が実施されていない	・嚥下機能に強い訪問医療(歯科医師、栄養士、薬剤師) ・同じ難病をもつ家族の会	⑧	6,9	玉川町5丁目
			43	高齢夫婦と子からなる三人世帯	認知症 要介護3	配偶者 学習障害	・大人の発達障害(疑い含)への支援がない	・大人の発達障害に対応する機関のアウトリーチ支援	⑥	9,1,8	朝日町4丁目
			44	親と子からなる二人世帯	認知症 要介護3	長女	・見守りしてくれる人がいない ・交流の場がない	・団地の若返り、団地(都営)コミュニティーの活性化 ・安価で借りられる施設	①	3,7	朝日町4丁目
東部	H30	第1回	45	親と子からなる二人世帯	脳梗塞(軽度左麻痺) 要介護3	母	抗がん剤治療中 ・病職乏しく危険行為が多い ・介護者が高齢で抗がん剤治療中のため万が一の時の対応について	・若年者の当事者の会 ・障害福祉サービスの情報やマップ ・障害と介護の横断的な相談所	⑥	3,8	玉川町2丁目
			46	単独世帯	うつ病(神経科入院歴あり) 要介護1	長女	・精神科に対する地域のサポート体制が弱い	・顔馴染みの医療者をつくる ・精神科アウトリーチ ・精神科訪問診療	⑨	6	福島町丁目外
			47	高齢夫婦二人世帯	慢性腎不全(人工透析)、心不全、貧血、大腸ポリープ 要介護1	夫	・栄養管理、ADL維持の健康面 ・家族のサポートを受けられる圏域で転居先確保(立ち退き迫られている) ・減免制度や他制度(生活保護など)の可能性について	・同居家族(引きこもりの孫)等に対する支援 ・地域とのつながりを持てる場 ・社協のコーディネーターとの協力体制	⑧	3,10,11	福島町1丁目
			48	単独世帯	アルツハイマー型認知症、不安症 要介護2	なし	・精神的疾患による体調面の不調 ・地域とのつながりが構築できない ・在宅生活を安全に過ごす	・サロンへ誘う人材育成 ・新しい人でも参加しやすいサロン ・支援者の顔の見える関係づくり ・精神科のアウトリーチ ・在宅医療、生活保護受給に対する意識改革	③	1,5	玉川町2丁目

- <大分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪その他

- <中分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪地域の見守り  
 ⑫啓発活動  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮その他

包括	年度	回	No	世帯	高齢者本人	同居の介護者	課題	必要とされた社会資源	大分類	中分類	町名
東部	H30	第2回	49	単独世帯	心疾患 要介護2	なし	・院内介助の自費負担大(生活保護受給者) ・医療同意する身内がない ・緊急通報システムの幅広い活用	・院内介助のボランティア ・病院内で院内介助のための介護職員雇用 ・訪問看護とボタナーつで繋がるシステム	②	9,5	郷地町2丁目
			50	高齢夫婦と子からなる三人世帯	パーキンソン病 要介護2	夫	・本人、家族の病識が薄い ・パーキンソン病の進行(支1⇒介2) ・物を捨てられず整理できないため転倒リスクあり	・同病を介護する家族の会 ・栄養指導(院内のみで在宅訪問が少ない) ・自宅訪問してくれるボランティア活動 ・ゴミだし支援(家の前に置いておく)	⑧	5	東町3丁目
			51	単独世帯	癌 要介護4	なし	・地域福祉権利擁護事業に申し込みから利用まで時間を要し、ケアマネが非公式代行してしまっている ・金銭管理が出来ない	・地域福祉権利擁護事業の人員充実 ・権利擁護業務の補佐 ・一歩進んだサロン活動	⑩	3,5	福島町丁目外
			52	高齢夫婦と子からなる三人世帯	脳血管性認知症 要介護1	妻	・金銭的事情でサービス・医療を受けられない(二世帯住宅ローンあり)⇒経済的虐待の可能性あり ・家族間(息子夫婦)との関係性が薄い ・家族の病識が薄い	・福祉的な視点も含めたファイナンシャルプランナー ・認知症予防の取組をしている通所施設がない ・家族介護者の会の周知活動、宣伝不足 ・認知症に対する正しい知識の啓発不足 ・「認知症カフェ」という名称が行きづらい要因の可能性あり	①	8	福島町2丁目
東部	H30	第3回	53	単独世帯	認知症、大腿骨骨折 要介護1	なし	・家族の介護力が乏しい ・金銭管理が出来ない ・病院受診ができていない	・レビー小体型認知症を診断できる医師が少ない ・本人家族の間に立って介入できる人材、機関が不足	①	6,10	東町3丁目
			54	親と子からなる二人世帯	糖尿病、圧迫骨折後 要介護1	長女	・転倒リスクがあるが助けを求めない ・本人から情報を得ることができない ・家族に現状が伝わっていない	・地域の方々と介護事業者との交流の場 ・アニマルセラピーが出来るサロン ・社会福祉法人の地域貢献として移送を行う等の取り組み	⑪	2,11	郷地町1丁目
			55	単独世帯	圧迫骨折後、膀胱脱、子宮脱術後 要介護1	なし	・自身の生活リズムを崩されることに抵抗感があるため、他者との関わりや介入拒否 ・ゴミが溜まっている	・ケアマネや介護事業者と地域の方々(民生委員含む)との交流の場 ・団地内での見守りボランティア ・ゴミだしボランティア	⑤	7,11	福島町丁目外
			56	単独世帯	両陽骨、右恥骨、右大腿骨骨折 要介護2	なし	・本人に受診拒否があるため、未受診で主治医がない。 ・介護者(精神疾患)の障害担当者との連携が図られていない。	・訪問カウンセリング ・整形外科的な部分も診てくれる訪問診療、訪問看護	⑥	9	郷地町3丁目
東部	H30	第4回	57	単独世帯	緑内障、気管支喘息、脳梗塞 要介護1	長女	・在宅生活を希望しているが、転倒が多い ・サービス等の受け入れがあまり良くない	・視覚障害の方に特化した相談窓口 ・隣近所との交流の場 ・自身の特技、知識を披露できる場(生きがいづくりの場) ・ガイドヘルパーの人材不足 ・見守りサービスの充実	③	11,6	玉川町5丁目
			58	単独世帯	腰椎圧迫骨折後、変形性頸椎症、陈旧性脳梗塞 要介護2	三女	・2階に住んでいて外出困難 ・近隣に友人もいない ・ゴミだし問題 ・今後、三女の支援を受けられなくなった時の対応	・ゴミ出し支援 ・日常生活におけるお手伝い、ボランティア ・地域福祉権利擁護事業以外の金銭管理システム ・自治会、近所との関係作り	⑤	11,5	福島町丁目外
			59	高齢夫婦と子からなる三人世帯	糖尿病、肺炎腫 要支援2	妻	・地域との繋がりが希薄 ・本人の中で肺炎は結核と同等レベルの病気に認識している ・家族間での病識意識が違う ・被害的な訴えが増えている ・不安感や喪失感を抱えている	・個別訓練対応ができるデイサービス ・夫婦で参加できる健康食事サービスや会食 ・アウトリーチの出来る認知症診断してくれる医師、看護師	⑨	3,1	郷地町2丁目
			60	単独世帯	糖尿病 要介護2	なし	・生活上での意欲低下 ・服薬管理困難 ・アルコール依存による生活の支障がある ・デイサービスに行きたがらない ・糖尿病の管理ができない	・飲酒ができる集いの場 ・栄養指導が受けられる場 ・若年層高齢者、男性高齢者が集える場作り	⑨	3	福島町丁目外
東部	R01	第1回	61	単独世帯	骨粗しょう症 右膝骨折 腰部圧迫骨折 申請中	長男嫁	・単価が安いサービスを利用したい ・今まで自分が出来ていたことに対してお金をかけることへの抵抗感 ・独居であるが、同一敷地内の隣家に長男家族がいるため、介護保険による訪問介護が利用できない ・介護者も高齢のため、援助が難しい	・短期間のみ使えるサービス ・ワンコインサービスの周知や推進 ・ちょこっとサービス(他市(日野 300円/回)を参考) ・社会資源の使い方に対する意識の向上 ・生活援助利用可否を本人にわかりやすい数値化	⑤	8	玉川町5丁目
			62	単独世帯	大動脈弁狭窄症 両膝変形性膝関節症 要介護1	長女	・買い物依存の傾向があり、必要以上に物を買ってしまう ・詐欺に合わないようにしたい ・本人は困っていないため、本人自身に解決しようとする意欲がない	・家電量販店などのネットワークの構築 ・見守りネットワークの充実(他機関、他業種) ・行政と警察で詐欺防止音声録音機能の宣伝と啓発 ・依存症の方に対する心理的ケア	⑥	11	朝日町3丁目
			63	単独世帯	変形性背椎症 運動器不安定症 高血圧 要支援2	娘	・本人の支援拒否 ・難聴の独居高齢者の支援(地域住民とのコミュニケーションが取れない) ・介護者に依存した生活になっている ・他者介入を希望しても介護予防訪問介護による通院介助を引き受けてくれる事業所がない ・災害発生時のSOS発信が聞こえない	・院内介助をしてくれる病院 ・車イス介助が出来るボランティアや自費サービス ・要支援認定者でも身体介護を引き受けてくれる訪問介護事業所 ・医療と介護の連携 ・防災無線が聞こえない難聴の方々への情報伝達手段や仕組み作り	⑥	9	東町4丁目
			64	高齢夫婦二人世帯	圧迫骨折 要支援2	夫	・身体状況が改善されているため、次回認定更新で非該当になる可能性がある ・本人が現状に満足しており、サービスを希望していない ・地域とのつながりが構築できない ・テレビやインターネットの情報に生活や行動を左右されてしまう	・介護保険利用終了後に移行できるような場作り ・介護保険卒業後の方々に対する取り組み ・サロンの周知(短編動画など) ・サロン巡りコーディネーター(市内のサロンを把握し、紹介しながら転々としても毎週参加を調整してくれる人)	③	7	東町1丁目

- <大分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪その他

- <中分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪地域の見守り  
 ⑫啓発活動  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮その他

包括	年度	回	No	世帯	高齢者本人	同居の介護者	課題	必要とされた社会資源	大分類	中分類	町名
中部	H29	第1回	8	単独世帯	認知症 要介護2 受診拒否(医療中断)	なし	・被害妄想、物盗られ妄想 ・引越しを手伝ってくれる人がいない	・市内精神科医のアウトリーチ ・引越し前の支援	①	5,9	中神町 1000
	H29	第2回	9	兄妹姉妹からなる二人世帯	支援拒否(精神疾患疑い、未申請) 近隣トラブル(ゴミへの放火、木々)	兄弟 精神疾患	・大量のごみ、放火による火災のリスク有 ・近隣からの苦情(木の枝が伸び隣家にかかっているなど)	・早期に発見し対応できるような小地域にコーディネーターを配置し、早期に包括などにつなげる体制を整備する ・地域での孤立を防止する体制(サロンなどから包括などへつなげる体制)	⑨	7,11	中神町 1丁目
	H29	第3回	10	単独世帯	認知症(受診拒否) 未申請	なし	・精神科未受診 ・本人の不安やSOSの対応	・初期集中支援チームによる精神科へのつなぎ ・認知症に対応できる傾聴ボランティア	①	5,7	上川原町 2丁目
	H29	第4回	11	高齢夫婦二人世帯	認知症(被害妄想、医療中断) 近隣トラブル(浮気妄想があり近隣にパイプを持って乗り込む、物を投げ捨てる)	配偶者 認知症疑い	・近隣に被害がある場合の対応が困難 ・医療中断者で近隣への被害がある場合の対応が困難	・地域の認知症の理解 ・保健所の機能強化	①	6	宮沢町 1丁目
	H29	第5回	12	高齢夫婦二人世帯	No11と同事例 要介護1	配偶者 認知症疑い	・近隣に被害がある場合の対応が困難 ・近隣の方や本人の住む地域で、気軽に相談できる場所がない	・近隣で被害を受けている方への精神保健福祉士などのアウトリーチ支援 ・近場に公的な精神保健福祉士などがある複数の窓口	①	6	宮沢町 1丁目
中部	H30	第1回	13	高齢夫婦二人世帯	強迫性神経症 未申請	配偶者	・医療中断 ・生活の危機感がない(家賃滞納、ライフラインストップ)	・気軽な法律相談 ・弁護士のアウトリーチ ・高齢者生活困窮者一時保護 ・生活困窮高齢者早期発見のため公共事業者等への公共事業者等への協力依頼、情報提供	⑩	6	大神町 4丁目
		第2回	14	単独世帯	アルツハイマー型認知症 未申請	なし	・フットワークの軽いボランティアがいるといい ・清潔が保たれていない(入浴、口腔ケア) ・高齢者支援センターの入浴が使いづらい	・訪問声掛けボランティア(外出準備・同行) ・自身に適したサロン(猫好きサロン・おつまみ作りサロン)	①	5,3	昭和町 5丁目
	H30	第3回	15	高齢夫婦二人世帯	アルツハイマー型認知症 要介護2 高血圧症	夫	・認知症によるBPSDの進行 ・マンションが多く、引きこもりの現状がわからない。近所との関わりも希薄。 ・市制になってから合併した町なので、他地区に比べて市民のつながりが薄い。	・認知症の方を訪問してくれるボランティア ・認知症の方が趣味を楽しんだり、活躍できる場 ・短距離(認知症カフェなど)の移動手段	①	3,2,5	昭和町 4丁目
	H30	第4回	16	兄弟と同居	アルツハイマー型認知症 要介護3 神経性胃炎	兄	・徘徊、暴力行為あり、デイサービス等のサービス拒否強い。 ・兄の医療不信	・サロンと困っている人をつなぐ手段。 ・退職後の男性の地域での接点を増やす ・認知症の方を地域で見守れる仕組み作り	①	3,7,11	宮沢町 2丁目
中部	R01	第1回	17	単独世帯	リュウマチ 認知症疑い 未申請	なし	・支援者が問題に思っていることに対して、本人が問題とっていない ・医療の未受診、医療費を支払うことが経済的に厳しい ・地域的に高齢者独居の多い地域 ・商業施設が比較的離れている地域 ・独居高齢者の見守り	・未受診の独居高齢者などの実態把握調査 ・身体的、経済的など病院へ行かない人への訪問による健康診断または血圧測定、健康相談 ・地域包括ケアシステムや包括支援センターを地域に知ってもらう啓発活動 ・見守りシステムの構築と地域への啓発活動	⑦	9,10 11,12	中神町 丁外
	R01	第2回	18	単独世帯	圧迫骨折 未申請	なし	・圧迫骨折後、痛みにより、今まで自分で行っていた家事が出来なくなり、身の回りのことが滞る ・緊急で今すぐに家事等を頼めるサービスが無い ・地域の支援者の高齢化 ・専門職のアウトリーチ(保健師など)	・圧迫骨折の予防に関する啓発活動、啓発活動を定期的に実施していく包括支援センターの人員不足 ・一時的に家事等を速やかに利用できるサービス(新宿区・回復期生活支援サービス参考) ・昭島市内での緊急ショートステイの利用できる施設 ・介護保険を利用していない方への、保健師等の専門職の訪問	⑪	12	中神町

- <大分類>
- ①認知症関連
  - ②移送関連
  - ③活動の場の充実
  - ④住環境関連
  - ⑤ボランティア関連
  - ⑥多職種連携
  - ⑦孤立関連
  - ⑧介護者支援関連
  - ⑨医療関連
  - ⑩生活困窮・権利擁護
  - ⑪その他

- <中分類>
- ①認知症関連
  - ②移送関連
  - ③活動の場の充実
  - ④住環境関連
  - ⑤ボランティア関連
  - ⑥多職種連携
  - ⑦孤立関連
  - ⑧介護者支援関連
  - ⑨医療関連
  - ⑩生活困窮・権利擁護
  - ⑪地域の見守り
  - ⑫啓発活動
  - ⑬
  - ⑭
  - ⑮その他

包括	年度	回	No	世帯	高齢者本人	同居の介護者	課題	必要とされた社会資源	大分類	中分類	町名
西部	H29	第1回	9	親と他の親族からなる三人世帯	愛の手帳保持者 要介護3	義理の姉妹 介護負担	・介護保険のサービスが本人の年齢に合っていない	・障害のサービスと高齢のサービスが本人の状況に合わせて選択できる体制	⑥	3,8	拜島町3丁目
	H29	第2回	10	高齢夫婦二人世帯	糖尿病 認知症 要介護3	配偶者 認知症	・認知介護 ・車の運転による交通事故が危ない	・認知症専門医による訪問診療 ・地域住民の認知症の理解 ・認知症の見守りネットワーク	①	11,5,8	緑町5丁目
	H29	第3回	11	単独世帯	認知症 要介護1	なし	・認知症の方の見守り、声かけなどの支援がない ・担当している民生委員の出席がない	・認知症見守りネットワークの構築 ・徘徊探索サービス ・男性の活躍の場(認知症サロン、茶話会)	①	3,11	拜島町3丁目
	H29	第4回	12	単独世帯	心臓病 要介護3	なし	・栄養状態が悪い ・こだわりへの対応 ・電話がない	・趣味活動(詰将棋)の派遣ボランティア ・本人が得意とすることを活かせる場 ・緊急通報システムの見直し(固定電話でない形など)	③	5	緑町4丁目
西部	H30	第1回	13	高齢夫婦二人世帯	ネフローゼ症候群 要介護4	配偶者	・透析患者の送迎が困難 ・入院がスムーズに行えない	・入院希望日の各病院の空き情報がわかるシステム ・既存のタクシー助成制度、介護タクシー制度の見直し ・送迎ボランティア	②	9	緑町5丁目
	H30	第2回	14	単独世帯	骨粗しょう症、癌 要介護1		・病院受診、介護サービスの拒否 ・病識の意識が薄い	・外出支援(散歩、買い物、通院サポート) ・福祉用具機器の充実	⑨	2,5	拜島町3丁目
	H30	第3回	15	親と子からなる二人世帯	第12胸椎圧迫骨折 両足部皮膚損傷 高血圧 脊柱管狭窄症 要介護2	三男	・介護サービスを検討しているが、息子の精神疾患で支援を入れることができない ・本人の支援と同居の息子の支援	・介護と障害の区分なく利用できるサービス ・ICTを活用したサポートシステム ・引きこもりがちの方の発見やアウトリーチ ・緊急通報システム、安否確認システムの拡充	⑥	11,5,8	緑町1丁目
	H30	第4回	16	単独世帯	間質性肺炎 高度慢性呼吸不全 リウマチ性多発筋痛症 低カリウム血症 逆流性食道炎 要介護3	甥	・認知機能低下に伴い、病識が薄く、常時見守りが必要な方への支援 ・医療が必要な高齢独居の方への支援 ・独居でペットの世話が出来ない人への支援	・楽しみの場の確保(ペットとふれあえるデイサービス等) ・犬と一緒に来てくれる傾聴ボランティア ・自治会での見守り支援 ・ペット散歩ボランティアの充実	⑨	3	緑町1丁目
西部	R01	第1回	17	単独世帯	高次脳機能障害 腰部脊柱管狭窄症 蜂窩織炎 要介護2	知人	・難聴や高次脳機能障害でコミュニケーションギャップが起きやすい ・本人の意向が変わると勝手にサービスを断ってしまい、連携が取れないまま手続きが滞る ・キーパーソンである知人の高齢化 ・本人の判断能力の低下	・市独自の高次脳機能障害の方が利用できる制度 ・介護保険サービスと障害サービスの連携 ・高次脳機能障害の方でも気軽に参加できるサロン ・買い物支援	⑥	3,1	拜島町3丁目
	R01	第2回	18	単独世帯	認知症 変形性膝関節症 心不全 要介護3	三男	・両膝の拘縮から歩行困難 ・支援者に拘縮の理解をしてもらえない ・食欲低下から体重減少	・介護者教室などの会合の普及啓発 ・栄養相談 ・家族が相談できる場づくり ・見守りネットワーク	⑧	1,11,12	緑町4丁目

- <大分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪その他

- <中分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪地域の見守り  
 ⑫啓発活動  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮その他

包括	年度	回	No	世帯	高齢者本人	同居の介護者	課題	必要とされた社会資源	大分類	中分類	町名
北部	H29	第1回	8	単独世帯	認知症 難聴 要介護1	なし	・認知症の独居の方の声かけが必要	・認知症見守り支援(話し相手、散歩の付き添い)	①	5	松原町 1丁目
	H29	第2回	9	親と子からなる二人世帯	緑内障 白内障 要介護2	子	・緊急時に利用できるサービスがない ・視力障害による外出困難 ・自分が認められる集まりの場がない	・緊急時に利用できるサービス ・障害に合わせたサロン ・傾聴ボランティアの回数を増やす	③	5	つつじヶ丘 3丁目
	H29	第3回	10	単独世帯	肝がん 難聴 要支援2	なし	・健康状態、栄養状態、金銭面を気軽に相談できる場がない ・自治会がない ・交通が不便(移動手段がない) ・異世代交流の場がない	・異世代が交流し相談できるサロン ・自治会の発足	③	2	美堀町 4丁目
	H29	第4回	11	単独世帯	パーキンソン病 左大腿部骨折 要介護2	なし	・ゴミをすてるのが困難 ・低所得での高齢者にあつた住宅を確保することが困難	・ゴミ捨てボランティア(近隣の方や小中学生) ・高齢者が住宅や医療機関などを探す簡易な手段	④	5,8,11	松原町 1丁目
北部	H30	第1回	12	高齢夫婦と子と孫からなる世帯	認知症 要介護4	配偶者 介護負担 子	・認知症である本人の居場所がなく、意欲低下 ・配偶者の介護疲れ(子と意見の相違) ・在宅介護(入浴など)が不十分	・趣味で集まれるサロン(認知症高齢者見守り支援事業) ・家族、地域住民の認知症の理解 ・認知症の見守りネットワーク	①	3	美堀町 4丁目
	H30	第2回	13	単独世帯	認知症疑い 要介護1	なし	・服薬管理ができない ・病院の受診ができていない ・独居、認知症の方への見守り、声かけできるシステムができていない	・キャラバンメイト、認サポの活躍の場作り ・デイサービスで作った作品を披露する場作り(得意なことを発表する場も含む) ・独居の方への見守り、声かけ支援 ・定期巡回・随時対応型訪問看護介護の事業所の活用 ・定年後の方を活用したボランティア	①	5,11	つつじヶ丘 2丁目
	H30	第3回	14	高齢夫婦二人世帯	三叉神経痛 両変形性膝関節症 高血圧 認知症 要介護1	配偶者 長女	・神経痛により閉じこもりがちで、通所介護は1回きりで中断 ・病院受診ができていない ・認知機能低下に対し家族の理解がない	・サロン送迎、移送の付き添い ・認サポ終了者が活躍できる場 ・認知症カフェの拡充 ・低価格で利用できる移送サービス	①	2,9	宮沢町 丁目外
	H30	第4回	15	単独世帯	不安神経症 心不全 左変形性膝関節症 要介護1	保佐人	・認知機能の低下。自宅で一人の時の様子や夜間の様子などの把握が出来てない。 ・自宅内に居る事が、多く活動性の低下 ・介護保険、医療保険サービス関係の方としか、接する機会がない	・地域の見守り支援の充実 ・話し相手、外出支援などの有償ボランティア ・サロンへの移動支援のボランティア	③	5,11	松原町 1丁目
北部	R01	第1回	16	単独世帯	痛風 要介護1	配偶者 長女	・認知機能低下により金銭管理が難しい ・車の運転をしているため事故の危険性がある。運転をしなくなったとき、外出手段がなくなり買い物が困難 ・精神科受診に対して、本人、家族の理解がない ・住環境の悪化により、事故、火事、転倒のリスクがある ・収集癖があり、生活空間以外は物であふれている	・認知症高齢者の運転に関する支援 ・運転経歴証明書の取得により移送サービスの割引(他市) ・免許返納後の支援 ・家族や本人が気軽に行える健康相談の場作り ・地域の見守り支援の充実	②	4,11	美堀町 5丁目
	R01	第2回	17	単独世帯	頻脈性心房細動 糖尿病 左大腿骨転子部骨折 要支援2	妹 (次女) (四女)	・本人の家族への依存、支援者も高齢者で負担が大きい ・1人では外出できず、閉じこもりの生活で家族以外の地域との関わりがない ・疾患に対する不安が強い	・自宅で入浴できない方の施設や支援体制の構築 ・サロン、外出への送迎支援 ・長年就労しており、地域と繋がるのがなかった方と地域を結びつけるための支援 ・認サポ、ボランティアをやりたいと思う方の支援体制の整備 ・地域住民と話し合いが行える場、地域へ支援を投げかける場作り	⑧	2,3,5,7	宮沢町 丁目外

- <大分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪その他

- <中分類>  
 ①認知症関連  
 ②移送関連  
 ③活動の場の充実  
 ④住環境関連  
 ⑤ボランティア関連  
 ⑥多職種連携  
 ⑦孤立関連  
 ⑧介護者支援関連  
 ⑨医療関連  
 ⑩生活困窮・権利擁護  
 ⑪地域の見守り  
 ⑫啓発活動  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮その他